



Pure 純 No.172 Pacific パ Mar.2014

純パの会会報『純パ』第172号

2014年3月22日発行

発行：純パの会 〒161-0032 東京都新宿区中落合3-13-1 塚原方

今年一番最初のオープン戦

稲葉 敦雄(千葉県野田市)

「離島初のオープン戦」というキャッチフレーズに誘われて石垣島まで行っちゃいました。2月15日(土曜日)に成田からの出発でしたが、その前日の金曜日が、本年関東地方2度目の大雪、出発当日が未明から暴風雨と大変な事態になりましたが、何とか無事に石垣島に着くことが出来ました。

昨年、新石垣空港がオープンして、成田、羽田から直行便が行くようになり便利になりました。



●キャンプ地・石垣市中央公園野球場の入口

試合当日(2月16日)は、最高気温22度予報の絶好の野球日和。開門前に石垣市中央公園野球場に着き、キャンプ地周囲をぐるっと回って雰囲気を楽しみました。

マリーンズのキャンプには、2008年にマリーンズが最初に石垣島キャンプを張った時に一度だけ訪れてはいますが、その時にはまだこの球場はありませんでした。

2008年に来てから、すっかり石垣島びいきになり、家族で娘の夏休み、春休みと2度季節を変えて訪れ、今では家族で石垣島びいきになってしまいました。

開門後に応援団の近くの外野芝生席に席を取り、球場全体を眺めてみましたが、特にこれといった特徴がある訳ではなく、一言で言うとよくありそうな地方球場様式で初めて来た感じがまったくありませんでした。

試合前に千葉から来た応援団が、島の人たちに簡単な応援のレクチャーを楽しく披露していたりして、試合前もなかなか楽しくすごせました。

試合は、バッファローズが松葉、マリーンズが地元の大嶺祐太の先発。

大嶺祐は二死から四球と連打で先制を許し、二回で3失点、替わった宮古島出身の川満も1失点と離島出身コンビがピリッとせず、3回までにマリーンズはバッファローズに毎回得点の0-4とされワンサイドになりそうな展開でしたが、3番手の上野以後の中後➡大